

議 事 日 程 第 1 号

令和3年9月1日（水）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 報第16号 令和2年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 日程第 4 報第17号 専決処分事件の報告について
- 日程第 5 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 6 議第57号 米沢市教育委員会委員の任命について
- 日程第 7 認第 1号 令和2年度米沢市一般会計歳入歳出決算
- 日程第 8 認第 2号 令和2年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 日程第 9 認第 3号 令和2年度米沢市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算
- 日程第10 認第 4号 令和2年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 日程第11 認第 5号 令和2年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算
- 日程第12 認第 6号 令和2年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算
- 日程第13 認第 7号 令和2年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算
- 日程第14 認第 8号 令和2年度米沢市南原財産区費特別会計歳入歳出決算
- 日程第15 認第 9号 令和2年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算
- 日程第16 認第10号 令和2年度米沢市水道事業会計決算
- 日程第17 認第11号 令和2年度米沢市下水道事業会計決算
- 日程第18 認第12号 令和2年度米沢市立病院事業会計決算
- 日程第19 議第58号 市有財産の減額貸付けについて
- 日程第20 議第59号 米沢市手数料条例の一部改正について
- 日程第21 議第60号 米沢市南原コミュニティセンター新設建築工事請負契約の一部変更について
- 日程第22 議第61号 米沢市道路占用料徴収条例の一部改正について
- 日程第23 議第62号 米沢市都市公園条例の一部改正について
- 日程第24 議第63号 市道路線の認定について
- 日程第25 議第64号 令和3年度米沢市一般会計補正予算（第4号）
- 日程第26 議第65号 令和3年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）

日程第 27 議第 66 号 令和 3 年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第 1 号）

日程第 28 議第 67 号 令和 2 年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について

日程第 29 請願の付託

本日の会議に付した事件

議事日程第 1 号と同じ

出欠議員氏名

出席議員（23 名）

1 番	鳥	海	隆	太	議員	2 番	成	澤	和	音	議員
4 番	古	山	悠	生	議員	5 番	井	上	由	紀雄	議員
6 番	小	島		一	議員	7 番	小	久保	広	信	議員
8 番	影	澤	政	夫	議員	9 番	高	橋	英	夫	議員
10 番	高	橋		壽	議員	11 番	堤		郁	雄	議員
12 番	関	谷	幸	子	議員	13 番	遠	藤	正	人	議員
14 番	山	村		明	議員	15 番	山	田	富	佐子	議員
16 番	佐	藤	弘	司	議員	17 番	太	田	克	典	議員
18 番	我	妻	徳	雄	議員	19 番	島	貫	宏	幸	議員
20 番	木	村	芳	浩	議員	21 番	相	田	克	平	議員
22 番	工	藤	正	雄	議員	23 番	中	村	圭	介	議員
24 番	島	軒	純	一	議員						

欠席議員（1 名）

3 番 齋 藤 千恵子 議員

出席要求による出席者職氏名

市 長 中 川 勝 副 市 長 大河原 真 樹

総務部長	後藤利明	企画調整部長	遠藤直樹
市民環境部長	安部道夫	健康福祉部長	山口恵美子
産業部長	安部晃市	建設部長	吉田晋平
会計管理者	小関浩	上下水道部長	高橋伸一
病院事業管理者	渡邊孝男	市立病院 事務局長	渡辺勅孝
総務課長	高橋貞義	財政課長	土田淳
政策企画課長	伊藤昌明	教育長	土屋宏
教育管理部長	森谷幸彦	教育指導部長	山口玲子
選挙管理委員会 委員長	玉橋博幸	選挙管理委員会 事務局長	佐藤幸助
代表監査委員	志賀秀樹	監査委員 局長	片桐茂
農業委員会会長	伊藤精司	農業委員 会事務局長	穴戸徹朗

出席した事務局職員職氏名

事務局長	三原幸夫	事務局次長	細谷晃
副主幹兼 議事調査主査	渡部真也	総務主査	澁江嘉恵
主査	堤治		

令和3年9月定例会日程

会期	月日	曜日	開議時刻	会 議 名	場 所	上程・付託			運 営
						議案	発議	請願	
1	9/1	水	午前10時	本 会 議	本会議場	26		1	議案上程説明 総括質疑、議案付託 請願付託
2	9/2	木		休 会					(議案調査)
3	9/3	金	午前10時	本 会 議	本会議場				一般質問
			本会議終了後	議会運営委員会	議長応接室				追加議案の取扱い、日程協議
4	9/4	土		休 会					
5	9/5	日		休 会					
6	9/6	月	午前10時	本 会 議	本会議場				一般質問
7	9/7	火	午前10時	本 会 議	本会議場	1			一般質問、追加議案上程説明、議案付託
8	9/8	水		休 会					
9	9/9	木		休 会					
10	9/10	金	午前10時	決算特別委員会	委員会室	13			議案審査
11	9/11	土		休 会					
12	9/12	日		休 会					
13	9/13	月	午前10時	決算特別委員会	委員会室				議案審査
14	9/14	火	午前10時	決算特別委員会	委員会室				議案審査
15	9/15	水	午前10時	決算特別委員会	委員会室				議案審査
16	9/16	木	午前10時	総務文教常任委員会	委員会室	1			議案審査
17	9/17	金	午前10時	民生常任委員会	委員会室	1			議案審査
18	9/18	土		休 会					
19	9/19	日		休 会					
20	9/20	月		休 会					(敬老の日)
21	9/21	火	午前9時	産業建設常任委員会	委員会室	4		1	現地調査、議案審査 請願審査
22	9/22	水	午前10時	予算特別委員会	本会議場	4			議案審査
23	9/23	木		休 会					(秋分の日)
24	9/24	金		休 会					
25	9/25	土		休 会					
26	9/26	日		休 会					
27	9/27	月	午前10時	議会運営委員会	委員会室				発議の取扱い 日程協議
28	9/28	火		休 会					
29	9/29	水	午前10時	本 会 議	本会議場				決算特別委員長報告 各常任委員長報告 予算特別委員長報告 発議等

午前１０時００分 開会・開議

○相田克平議長 おはようございます。

ただいまの出席議員23名であります。

去る８月25日招集告示されました令和３年９月定例会はここに成立いたしました。

ただいまから令和３年米沢市議会９月定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議は議事日程第１号により進めます。

.....

日程第１ 会議録署名議員の指名

○相田克平議長 日程第１、会議録署名議員の指名であります。会議規則第88条の規定により指名いたします。

５番 井 上 由紀雄 議員

１１番 堤 郁 雄 議員

１９番 島 貫 宏 幸 議員

以上３名の方をお願いいたします。

.....

日程第２ 会期の決定

○相田克平議長 次に、日程第２、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期を本日から９月29日までの29日間と定めたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日から９月29日までの29日間と決定いたしました。

.....

日程第３ 報第１６号令和２年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について外１件

○相田克平議長 次に、日程第３、報第16号令和２年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について及び日程第４、報第17号専決処分事件の報告についてを議題といたします。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

本件は報告事項でありますので、御了承願います。

.....

日程第５ 諮問第２号人権擁護委員候補者の推薦について

○相田克平議長 次に、日程第５、諮問第２号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を求めます。
中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 おはようございます。

ただいま上程になりました諮問第２号人権擁護委員候補者の推薦について説明いたします。

人権擁護委員の笹原恵氏は、来る12月31日にその任期が満了となりますが、その後任委員の候補者について、山形地方法務局から推薦の依頼がありましたので、新たに高橋章氏を人権擁護委員候補者として推薦することについて、人権擁護委員法第６条第３項の規定により、議会の意見を求めるため提案するものであります。

何とぞ御同意賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○相田克平議長 ただいまの市長説明に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

諮問第2号に同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。

よって、諮問第2号は同意することに決まりました。

.....

日程第6 議第57号米沢市教育委員会委員の任命について

○相田克平議長 次に、日程第6、議第57号米沢市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を願います。
中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 ただいま上程になりました議第57号米沢市教育委員会委員の任命について説明いたします。

本市教育委員会委員の我妻仁氏は、来る9月30日にその任期が満了となりますが、引き続き同氏を同委員に任命したく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めるため提案するものであります。

何とぞ御同意賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○相田克平議長 ただいまの市長説明に対し御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

議第57号に同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。

よって、議第57号は同意することに決まりました。

.....

日程第7 認第1号令和2年度米沢市一般会計歳入歳出決算外21件

○相田克平議長 次に、日程第7、認第1号令和2年度米沢市一般会計歳入歳出決算から日程第28、議第67号令和2年度米沢市水道事業会計剰余金の処分についてまでの議案22件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を求めます。
中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 ただいま上程になりました認第1号から認第12号まで及び議第58号から議第67号までの22案件について説明いたします。

初めに、認第1号令和2年度米沢市一般会計歳入歳出決算について説明いたします。

歳入総額は540億6,461万1,734円であり、前年度と比較して140億9,982万3,216円増加いたしました。

主な内容としましては、産業用地基金繰入金の減などにより繰入金が減少した一方、特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増など、新型コロナウイルス感染症に関係した国県支出金が大幅に増加するとともに、庁舎やコミュニティセンターの建て替えなどによる市債が大幅に増加しました。

歳出総額は525億5,114万3,456円であり、前年度と比較して140億6,735万7,340円増加しました。

主な内容としましては、第1款議会費では、前年度に引き続き市議会ペーパーレス会議システム等の運用を行い、第2款総務費では、新型コロナウイルス感染症対策として特別定額給付金給付事業を実施したほか、西吾妻山×天元台高原×白布温泉エリアリポーンプロジェクト事業に取り組むとともに、引き続き、米沢ブランド戦略事業や庁舎建替事業の推進を図りました。

第3款民生費では、新型コロナウイルス感染症対策として独り親家庭等や子育て世帯への臨時特別給付金給付事業を実施したほか、障がい者福祉をはじめとした福祉サービスの利用の増加に対応し、次世代を担う児童の健全育成にも努めたところであります。

第4款衛生費では、すこやかセンターの空調設備改修事業を実施するとともに、新型コロナウイルスワクチン接種事業の推進を図り、第5款労働費では、雇用の安定や労働福祉の向上に取り組みしました。

第6款農林水産業費では、地域農業の振興を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策として米沢牛消費拡大事業を実施したほか、林業経営の効率化や管理の適正化を一体的に促進するため、森林環境譲与税活用事業に取り組みしました。

第7款商工費では、米商連共通買物券事業費補助金や中小企業緊急災害等対策利子補給補助金のほか、宿泊助成キャンペーン事業などの新型コロナウイルス感染症に関する経済対策を実施し、地域経済の回復に向けた施策に取り組みしました。

第8款土木費では、冬期間の交通確保に努めたほか、橋梁の長寿命化を推進し、第9款消防費では、常備消防に係る分担金を支出したほか、避難所における感染症対策備蓄資材等の購入を行いました。

第10款教育費では、小中学校の情報通信ネットワーク整備事業や老朽化したコミュニティセンタ

ーの整備事業を行いました。

次に、認第2号令と2年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算から認第9号令と2年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算までについて説明いたします。

特別会計は8会計あり、それらの歳入総額は178億5,558万8,090円で、前年度と比較して5,566万6,850円の増加となりました。

一方、歳出総額は172億507万3,839円で、前年度と比較して2億8,958万4,972円の減少となりました。

次に、認第10号令と2年度米沢市水道事業会計決算について説明いたします。

水道事業につきましては、施設整備の面では、給・配水管の布設替えなどを行い、耐震化と漏水防止を図るとともに、安定給水に努めたところであります。

経営の面では、新型コロナウイルス感染症に関する経済対策・生活支援として、水道料金の基本料金を5か月間免除したことなどから、収益全体として前年度に比べて2億5,009万3,610円減少の16億9,444万9,459円となりました。

支出につきましては、前年度に比べ914万316円増加の15億9,687万2,967円となりました。

この結果、純利益は前年度と比べて2億5,923万3,926円減少の9,757万6,492円となりました。

次に、認第11号令と2年度米沢市下水道事業会計決算について説明いたします。

下水道事業につきましては、施設整備の面では、米沢浄水管理センターの電気設備更新などの改築事業に引き続き取り組み、また、農業集落排水処理施設改築工事の着工に向けた実施設計を行いました。

経営の面では、公共下水道、農業集落排水を合わせた全体の事業収益として、前年度に比べ499万9,702円増加の21億8,963万695円となりました。

支出につきましては、前年度に比べ5,718万507円減少の21億6,221万9,100円となりました。

この結果、令和２年度は前年度に比べ6,218万209円増加の2,741万1,595円の純利益となり、累積欠損金は735万7,019円となりました。

次に、認第12号令和２年度米沢市立病院事業会計決算について説明いたします。

病院事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入院、外来とも患者数の減により医業収益が減少したものの、新型コロナウイルス感染症関連の補助金や医療機関統合支援給付金を受けたことにより、収益は前年度に比べ5,712万6,461円増加の75億9,603万3,449円となりました。

支出については、経費及び雑支出が増加したため、前年度に比べて1億7,545万3,123円増加の77億7,964万703円となりました。

この結果、当期については、前年度に比べて1億1,832万6,662円損失が増加し、1億8,360万7,254円の純損失となったため、債務超過が続いている状況であります。

次に、議第58号市有財産の減額貸付けについて説明いたします。

本案は、株式会社上杉コーポレーションに対し、土地4,600平方メートルを貸付け適正額から3分の1に減額して貸付けするため、地方自治法第96条第1項第6号の規定により提案するものであります。

次に、議第59号米沢市手数料条例の一部改正について説明いたします。

本案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、個人番号カード再交付手数料を廃止するため提案するものであります。

次に、議第60号米沢市南原コミュニティセンター新設建築工事請負契約の一部変更について説明いたします。

本案は、令和３年３月定例会で契約の締結が議決され現在施工しております米沢市南原コミュニティセンター新設建築工事について、地盤改良工

事等の一部変更のほか、ウッドショックの影響により木材の納入に遅延が生じたため、現場の維持に必要な経費を追加し工期を延長する必要があることから、契約金額を1億4,740万円から1億5,369万2,000円に629万2,000円増額するとともに、工事の完成日を令和３年10月19日から令和３年11月19日に延長し、契約を変更いたしたく提案するものであります。

次に、議第61号米沢市道路占用料徴収条例の一部改正について説明いたします。

本案は、道路の占用に係る占用料を改めるとともに、自動運行補助施設による道路の占用に係る占用料を定めるほか、規定の整備を図るため提案するものであります。

次に、議第62号米沢市都市公園条例の一部改正について説明いたします。

本案は、都市公園の使用に係る使用料を改めるほか、規定の整備を図るため提案するものであります。

次に、議第63号市道路線の認定について説明いたします。

本案は、県道移管に伴い1路線を新規認定するため提案するものであります。

次に、議第64号から議第66号までの補正予算3案件について説明いたします。

議第64号令和３年度米沢市一般会計補正予算（第４号）は、過年度国県支出金の返還など緊急に補正を必要とする事業費として4億2,966万8,000円を増額補正しようとするものであり、この結果、補正前と合わせた一般会計の予算総額は433億3,295万円となります。

主な補正内容を説明いたしますと、総務費におきましては、令和２年度歳計剰余金の財政調整基金への積立てや市民バスへのＩＣカード導入などに要する経費として2億1,774万2,000円を、民生費におきましては、過年度国県支出金返還金や保育料段階的負担軽減事業費補助金などに要する経費として1億3,214万1,000円を、農林水産業費に

おきましては、担い手・農地総合対策推進事業などに要する経費として1,238万1,000円を、商工費におきましては、西吾妻紅葉満喫誘客促進事業に要する経費として1,540万円をそれぞれ増額補正しようとするものであります。

これらに伴う財源といたしましては、特定財源として国県支出金や諸収入などを増額補正するほか、一般財源として普通交付税や前年度繰越金などを増額補正するとともに、財政調整基金繰入金と臨時財政対策債を減額補正しようとするものであります。

次に、特別会計であります、議第65号令和3年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)は、国民健康保険財政調整基金積立金や過年度県支出金返還金に要する経費として3億2,856万4,000円を、議第66号令和3年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)は、介護保険給付基金積立金や過年度国庫支出金返還金などに要する経費として2億5,209万4,000円をそれぞれ増額補正しようとするものであります。

次に、議第67号令和2年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について説明いたします。

本案は、令和2年度に生じた水道事業の剰余金を処分するため提案するものであります。

以上、提案いたしました各議案につきまして、よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

○相田克平議長 ただいま市長から提案理由の説明がありました議案のうち、認第1号から認第12号までの12件に関し、監査委員の意見が付されておりますので、その説明を求めます。志賀代表監査委員。

〔志賀秀樹代表監査委員登壇〕

○志賀秀樹代表監査委員 おはようございます。

監査委員の志賀でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、監査委員の意見を述べさせていただきます。

ただいま中川市長から説明がございました認第1号令和2年度米沢市一般会計歳入歳出決算から認第12号令和2年度米沢市立病院事業会計決算までの監査意見について、木村監査委員と意見が一致しておりますので、私から申し上げます。

まず、米沢市一般会計・特別会計決算及び基金運用状況審査意見書でございますが、1ページをお開きいただきまして、第1の審査の対象につきましては、ここに記載のとおりでございます。

第2の審査の方法につきましても、記載の方法で実施いたしました。

第3の審査の結果でございますが、審査に付された決算及び基金の運用状況を示す調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ、それらの計数は証書類と符合し正確であります。予算執行状況においても、おおむね適正であると認めます。

また、米沢市公営企業会計決算・米沢市健全化判断比率・米沢市資金不足比率における審査の対象、審査の方法、審査の結果も、各意見書1ページまたは6ページに記載のとおりです。

それでは、一般会計・特別会計・基金運用状況と健全化判断比率・資金不足比率の総括として、11ページ、12ページの総括的意見を読み上げさせていただきます。監査委員意見とさせていただきます。

総括的意見。

令和2年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、急速な国民生活不安や企業活動低下等により、景気の悪化を経験することとなった。こうした事態を受け、政府は令和2年4月、一部の地域に緊急事態宣言を発し、地方自治体・事業者を含む国民一丸となった感染防止に向けた取組を進め、一時的には感染症の拡大を抑え込んだが、再度感染は拡大した。また、経済活動を大幅に抑制したことにより国内景気は極めて厳しい状況となり、特別定額給付金や休業補償・雇用調整助成金等、企業や個人に対し積極的

な支援を行い、政府は国民生活の安定、企業活動の継続を含め後押しをした。米沢市も政府方針に追従し、市独自の積極支援策を含め市民・企業の支援を実施した。この期間、各職員の献身的な対応に感謝したい。

このような環境の中、令和2年度一般会計・特別会計の歳入歳出額は、市庁舎建替事業、新型コロナウイルス感染症対応住民並びに企業支援、大雪による除雪対応等により、歳入歳出金額が増加、異例の過去最大規模の決算となった。歳入決算額719億2,020万円、前年度比141億5,549万円(24.5%)の増、歳出決算額697億5,621万7,000円、前年度比137億7,777万2,000円(24.6%)の増、歳入歳出差引額は21億6,398万3,000円と前年度比3億7,771万8,000円(21.1%)の増となり、翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支額は18億5,912万1,000円となり、前年度比4億1,551万円(28.8%)の増加となった。一般会計における執行率は91.3%、不用額は18億1,175万4,000円で前年度より2億4,855万9,000円増加した。

令和3年3月は平成28年度より開始した財政健全化計画の終了時期であり、5年間の実績が報告された。この計画は、まちづくり総合計画に掲げた施策の着実な推進に必要な安定した財政運営を実現するために、収支の改善と長期的な収支の均衡を図り、持続可能な財政運営を目指し策定された。計画概要は財政健全化に向けた3項目、財政健全化に向けた具体的施策2項目、細目9項目とした。監査委員は、本件計画の5年間の実施状況と、地方公共団体の財政の健全化に関する法律4項目に準じた現況の確認、その他の項目について財政の健全度の角度から意見を述べる。

財政健全化計画の実績については、令和2年度単年度の評価と、平成28年度から令和2年度までの通期5年間の平均値で評価を行った。財政健全化に向けた3項目のうち、修正実質単年度収支については、単年度では計画値2億400万円に対し6,500万円、5年間平均では計画値6,100万円に対

し1億900万円で、計画値は年度ごとのぶれがあるが、平均すると計画値を78.7%上回っている。財源調整基金残高は単年度計画値20億2,200万円に対し30億1,400万円、5年間平均では計画値18億1,700万円に対し30億4,800万円で5年間毎年計画値をオーバーした。経常収支比率は単年度計画値95.7%に対し92.5%となり、5年間平均では計画値95.5%に対し92.8%で、こちらも毎年計画値より低く良好な値である。

次に、具体的施策の歳入の確保については、税収等の確保、ふるさと応援寄附金制度の推進、その他の収入の確保は每期計画を達成しており評価したい。しかし、受益者負担の見直しについては4年間計画値に届かず、具体的な実行施策の検討が必要である。次に、歳出の抑制では、補助金・負担金の見直し、公共施設運営等の見直しは5年間ほぼ計画値どおりの実績となっているが、職員人件費の抑制、事務事業の見直しは計画値とは乖離が大きく、効率的な業務計画や意識の高揚が求められると考える。また、他会計負担金等の抑制についても5年間計画未達となったが、下水道事業、市立病院事業等収益の確保ができる企業体質の醸成が必要である。財政健全化計画については、各項目努力の跡が見受けられ主要3項目はおおむね良好に推移している。計画は終了したが、今後のフォローに期待したい。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律は、4つの財政指標を健全化判断比率として定めている。内容は令和2年度決算に基づく米沢市健全化判断比率・資金不足比率審査意見書に記載のとおりで、概要は実質赤字比率がマイナス6.04%で黒字、連結実質赤字比率がマイナス35.70%で黒字、実質公債費比率が8.2%、将来負担比率は47.7%となり、全項目ともアラームポイントである早期健全化基準に対し良好な数値を示している。関連する資金不足比率の概要は、と畜場及び食肉市場費特別会計、青果物地方卸売市場費特別会計、水道事業会計、下水道事業会計（公共下水道事業・農

業集落排水事業）、市立病院事業会計、それぞれ資金不足は確認されず、各項目の指数は、経営健全化基準20.0%からは大きく離れた良好な値を示している。

次に、財政指数と類似団体との比較では、財政力指数類似団体は0.73に対し本市は0.59と低く、経常収支比率92.0%に対し本市は92.5%で近似値、実質収支比率5.9%に対し本市は6.0%で近似値、実質公債費比率6.6%に対し本市は8.2%であり高い。財政力指数は財政力を示す指数で、類似団体平均値より0.14低い。しかし、県内においては、県内13市中4位の値を示し、地域差の影響も考えられる。実質公債費比率は収入に対する返済比率を表したもので、類似団体より1.6ポイント高い。これは、市債残高が市庁舎建て替え等により前年比26億6,954万2,000円増加したことが要因である。アラームポイントの18%・25%には大きな開きがあり、増加原因も明確なことから問題はない。

以上の財政指数等から判断し、市の財政状況はおおむね良好と考えられ、その背景として財政調整基金及び公共施設等整備基金の財源調整基金の合計は30億1,395万2,000円となった。総じて財政健全化へのステップは一步步進んでいると認められる。

しかし、令和3年度以降、歳入面では新型コロナウイルス感染症の動向、地方経済見通しの行方、少子高齢化の進展等により先が見えにくく、歳出面では市庁舎建て替え後の負担増加と今後予定されている市立病院の建て替えと設備更新、統合中学校の整備等、大型の建設事業をはじめ歳出の増加が予測され、財政面、資金繰りでは徐々に厳しさが顕在化すると考えられる。先が見えない状況の中、投資に見合う財政力の確保が必要であり、効率的な財政運営を目指し、前述の財政健全化計画での未達項目に着目し改善に向けた取組が必要である。財政健全化計画は終了したが、この環境に即した財政健全化計画等を再策定しマイルストーンで期中管理を行い、PDCA手法により情報

管理を共有化し中期の財政健全化計画を実行し、市民の信頼と期待に応える健全な財務状況の維持に期待したい。

続きまして、令和2年度米沢市公営企業決算審査意見に移ります。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、水道事業では5か月間の基本料金部分の免除による収入減や、市立病院では感染症の影響で入院・外来患者が減少し、どちらも収入が減少、決算には悪影響を与えた。

意見書には各企業の状況を詳しく説明しておりますので御覧ください。

総括して、4ページ、5ページの総括的意見を読み上げ、監査委員の意見とさせていただきます。

総括的意見。

令和2年度の概況は、新型コロナウイルス感染症対策で企業活動や市民生活の環境が大きく制限された中、市は経済対策や市民支援を積極的に実施した。また、少子高齢化が進み、人口減少に歯止めがかからない状況の中、世帯的には核家族化が進み少人数世帯が増加し、総世帯数では増加傾向にある。このような中、米沢市公営企業を取り巻く環境はさらに厳しさが増加すると考えられる。その中で、各事業は公営企業の立場を理解し市民サービスを提供している。今後とも持続可能な事業継続を期待されている。

水道事業につきましては、令和2年度も給水管布設等耐震化と漏水防止を図り安定供給維持に努めている。経営状況については、新型コロナウイルス感染症に係る経済対策・生活支援として基本料金部分を5か月間免除したことにより給水収益が2億1,401万1,000円減少したが、営業外収益1億3,303万8,000円でカバーし、純利益は前年度比2億5,923万4,000円減の9,757万6,000円を計上することができた。本事業は山形県広域水道用水供給事業からの受水単価を主とする給水原価と水道料金供給単価による収益構造となっている。供給単価は適正に設定されており、また受水単価も安

定していることから、今後収益確保と安定供給が期待できる。しかし、人口減少に伴う給水量の通減が見込まれることと、設備の老朽化による漏水対策等を考慮し、今後は長期視野に立った設備更新ロードマップ等の整備を行い、その進捗状況の把握が必要である。

下水道事業については、米沢市浄水管理センター施設改良工事に伴う汚泥消化施設の改築及び同センター並びに上新田中継ポンプ場の電気設備更新を行い、管渠整備を含め設備保守を積極的に実施し、今後予定されている広域処理に対する対応も見据えている。経営状況については、営業収益は11億4,680万3,000円、営業費用は18億2,813万9,000円となり、営業損益で6億8,133万6,000円の損失を計上し、営業外収益により最終純利益は2,741万2,000円を計上した。営業損失の要因は、償却資産の合計額は331億8,466万3,000円であり、その減価償却費は12億3,440万4,000円と大きく、営業費用中の67.5%を占めている。また、本事業は開始後35年程度経過で、当初の投資及びその後の投資継続により現在の起債残高は154億6,343万6,000円を計上している。事業開始後令和元年度末までの投資済み事業費合計額が642億7,400万円を計上していることを念頭に置けば、営業赤字体質の傾向は理解できる。しかし、公営企業として独立採算を目指し利益確保は必須であり、そのステップとして経費圧縮と下水道料金の見直し等を検討する時期と考える。加えて、污水管渠の新規布設事業、農業集落排水事業について今後の方向性を含め、管渠の耐震化対策についても具体的に検討する時期と考える。

病院事業については、新型コロナウイルス感染症対策活動の中で最前線での事業活動を展開、市民生活安定と健康維持を図り、地域の基幹病院として救急対応を含め安定した医療の提供に努めている。経営状況は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け入院・外来患者数が減少したことにより、医業収益が減少し8年連続で赤字を計上した。

当期純損失は1億8,360万7,000円を計上、また、債務超過状態は5年間継続となり3億691万9,000円を計上した。要因は医業費用を医業収益により吸収できず、収益性が低い政策医療を担う中、補助金・負担金等医業外収益を加算しても1億4,767万円経常損失が発生している現状である。構造的に収益環境が厳しく、今後の早急な対策が必要と考えられる。また、米沢市立病院改革プランが令和2年度末で終了したが、引き続きプランを策定実行し、常に状況の把握が必要である。同プランの2年度末達の経費削減項目「職員給与比率」（平成30年度～令和2年度末達）、「材料比率」（平成28年度～令和2年度末達）等踏み込んだ改革が必要と考える。また、赤字計上と債務超過を解消すべく、医療収益の増加と経費圧縮等、収益増加を目指す財政改善計画等を策定し、PDCAを回し進捗を共有する等、検討する時期と考える。前述の米沢市立病院改革プランに組み込み総合的に管理することを切望する。公営企業として経営基盤の強化を図り、一層の医療サービスの提供に期待したい。2年後開院を目指している新病院は、山形県地域医療構想の実現に向け地域医療の向上に大きく期待されている。

以上が監査委員の意見でございます。

○相田克平議長 以上で決算審査意見の説明を終了し、これより総括質疑に入ります。

ただいま議題となっております議案に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 なければ総括質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案22件は、会議規則第37条第1項の規定により、配付しております議案付託表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託いたします。

各委員会は、会議日程により慎重審査の上、来る9月29日の本会議にその結果を報告願います。

.....

今定例会において、 8月25日までに受理しました請願は1件であります。

所管の委員会は、会議日程により慎重審査の上、
来る9月29日の本会議にその結果を報告願います。

.....

本日はこれにて散会いたします。

午前 10 時 52 分 散 会

